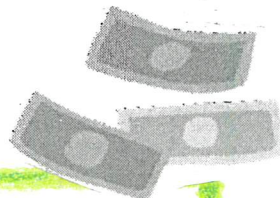
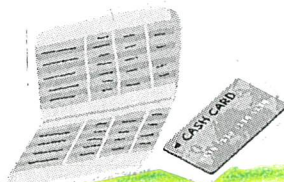


来春にも、〇〇ペイで給与支払い可能に？ ～ デジタル給与払いのメリットとデメリット～



労働基準法では、賃金の支払い方法の原則として「通貨で、直接労働者に、その全額を支払わなければならない」とし、例外として口座振込が認められています。

政府は、現金・口座振込に次ぐ支払い方法として PayPay、楽天ペイといったスマホ決済アプリの口座に入金できるよう制度の最終調整を進めています。デジタル口座の残高上限は100万円とし、それを超える分は従来通りの銀行口座等への振込とのこと。



企業側のメリット

- ・ 振込手数料、事務負担の軽減につながる可能性がある。
- ・ デジタル払いを求める若者や外国人労働者の人材確保。

労働者側のメリット

- ・ 現金の引出しやチャージの手間が省ける。

今後の課題やデメリット

- ・ 決済アプリ業者が破綻した場合の保証の確保
- ・ スマートフォンの紛失、盗難や災害での停電時などの対応
- ・ ハッキング等による不正利用
- ・ 口座振込希望者とデジタル払い希望者への二重運用への手間とコストの可能性



個人的には来春予定の解禁後も様子見かと思いますが、皆さまはどう感じられますか。

メールマガジン配信希望の方は下記のメールアドレスまでご連絡ください。